

(7) 2019年(令和元年)5月16日(木曜日) 日刊(土曜、日曜、祝日休刊)

### 県内2団体が一つに結集

#### 岩手コンクリート製品協 設立記念総会開催

岩手県コンクリート製品協会(一沢健治会長)の設立記念総会が14日、盛岡市のアートホテル盛岡で開かれた。同協会は、コンクリート二次製品業界の健全な維持発展を図るため、岩手県内のコンクリート製品協会に関わる2つの団体が解散した上で、新たに会員17社が一つに結集し設立。製品の研究開発および品質管



あいさつする一沢会長

理などの情報収集や調査研究などの活動を展開する。

一沢会長は、東日本大震災からの復旧・復興にコンクリート二次製品の製造販売会社として製品の安定した品質と供給を通じ、地域に根差した企業展開を行ってきたが、「原材料価格の上昇、復興も終盤を迎え需要減少も見込まれる」との現状を踏まえ、「重要課題の解決に取り組むため、2つの団体を一本化し、県内17社の賛同により新たな組織として内外に情報発信することにした」と設立の趣旨を説明。道路

や農業生産基盤のインフラなど「さまざまな場面で活用されるコンクリート製品の品質確保を図り、ユーザーの満足度を高め、業界の地位向上のため運営し、永続的に発展していくことを誓う」と決意を表明した。

引き続き、3月28日に開催した設立総会で、会長に一沢健治代表取締役の一次健治代表取締役、副会長に川崎コンクリート工業の海野正之代表取締役社長、立石コンクリートの熊谷徹代表取締役、岩手ハネダコンクリートの高橋進代表取締役社長を選出したことを報告。また、技術委員会、広報委員会、総務運営委員会を設置。2019年度は製品の研究開発および品質管理と製品の

設計・積算・製造・施工の情報収集および調査研究、協会の広報活動や需要の創造活動などの事業計画を決めたことも説明した。

来賓として出席した東北地方整備局の一戸欣也企画部技術調整管理官は「コンクリート製品は国土保全になくてはならない。会員各社が連携して意見を集約し、官民連携で復旧・復興などを成し遂げていきたい」と期待を寄せた。東北経済産業局の千葉雅幸地域経済部製造産業課長補佐は「コンクリート製品はインフラ整備に欠かすことができない重要なものだ。今後の活動が製品の安定供給と品質強化につながることを期待する」と話した。